

横山幸次

区政報告
ニュース

700

2018年7月1日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

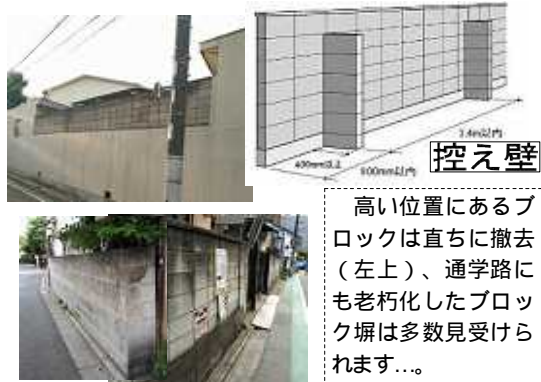
横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメールアドレス
kouji.office@gmail.com

町屋事務所のメールアドレスを変更しました。
kouji.office@gmail.com
です...

区が学校ブロック塀危険箇所を緊急撤去 通学路などの安全確認なども実施します

防災 対策

荒川区は、大阪北部地震でのブロック塀倒壊事故を受け、区内公共施設の点検調査を実施し、区議会に報告しました。報告では、一部ブロック塀等に亀裂や破損が見られたが「直ちに危険に及ぶ」状況はないとの認識を示しました。文教子育て支援委員会では、学校関係で道路に面した高さ2・2m以上のブロック塀については、5校で確認され直ちに撤去するとなりました。しかし学校には、既存不適格のブロック塀（控え壁がないなど）があることも指摘され、



高い位置にあるブロックは直ちに撤去（左上）、通学路にも老朽化したブロック塀は多数見受けられます...

危険な箇所などチェック... 住民参加で地域防災マップづくりを

各ご家庭でも、日常的に通行する道路などの安全や避難先の確認など地図に落として簡単な防災マップをつくってはいかがでしょうか。全国的には、地震、水害などでの「防災マップづくり」が広く行われています。



「荒川区防災アプリ」を入れてますか？

荒川区は、スマートホン用（iOS、アンドロイド対応）の防災アプリを配布しています。地震モードでは、防災地図（区民モード、帰宅困難者モード）の閲覧できます。区のホームページからダウンロード

裏面 荒川区で手話言語条例が制定...など

定例法律相談会

7月2日(月)
午後6時～8時

横山区議事務所

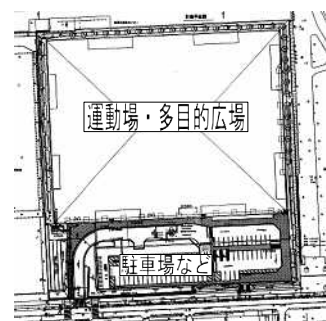
8月はお休み

(お急ぎの場合ご連絡下さい)

生活相談は、随時受け付け
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

まちな話題あれこれ 尾久の原公園・東尾久運動場拡張工事も最終盤 新たな利用料も提案...利用者などの声も聞いて整備を

尾久の原公園にある東尾久運動場の拡張工事もういよいよ最終段階に入りました。今は、駐車場・トイレ・手洗いの工事とももグラウンド面の整備も進行中。ネットを張る支柱も据え付けられています。この議会で新しい運動場・多目的広場の使用料が提案されました。それによると、1コマ2時間＝1000円、中学生以下400円となっております。現在よりも値上げになりますが、荒川区営運動場と同じ料金にしたとのこと。



現在はサッカーの公式コートは取れませんが完成後は可能です。議会でも様々な改善要望が出されています。今後、利用者はじめ区民の声を聞いて、荒川区にとって貴重な施設をより良いものにしてほしいものです。
(横山幸次)

障害者福祉…

荒川区で「手話言語条例」が制定の運びに 誰もがコミュニケーションのとれる地域へ

手話フォンの通話イメージ



そのためには、荒川区の手話に関する施策の具体化

文化として位置づけ、手話を日本語とは違う独自の言語体系を持った言語、文化として位置付け、地域でコミュニケーション手段を拡大する一歩となります。

手話を独自の言語・文化として位置づけ、手話を日本語とは違う独自の言語体系を持った言語、文化として位置付け、地域でコミュニケーション手段を拡大する一歩となります。

手話を独自の言語・文化として位置づけ、手話を日本語とは違う独自の言語体系を持った言語、文化として位置付け、地域でコミュニケーション手段を拡大する一歩となります。

全ての住民が意思の疎通と情報を共有できるさらに情報・コミュニケーション条例の制定を

障害者の情報アクセス・コミュニケーション保障を求める政策…日本共産党

障害者のコミュニケーション手段の自己選択・自己決定を尊重し、社会参加を保障する「情報・コミュニケーション法」を制定します。

各地で手話言語条例が制定されてきており、手話言語法を求める意見書がすべての自治体で採択されています。手話言語法の制定を求めます。

読書や文字の読み書きに困難がある高齢者や障害者の「読書権」を保障し、公的機関などに読み書き（代読・代筆）情報支援員の配置ができるよう求めます。

アクセシブルな情報通信技術（ICT）の調達を政府に義務づるとともに、「新技術」の開発段階からの障害者の参加保障を求めます。

障害者対応のATMの普及や、窓口対応の改善をすすめます。紙幣について、サイズの差別化をはかり、さわってわかりやすくするなどの改善を求めます。

テレビとラジオが聴取できる携帯品「テレビラジオ」を日常生活用具へ指定するよう求めます。

人工呼吸器を装着した難病患者や重度障害者のコミュニケーションツールとして機器の開発を促進し、これらを補装具や日常生活用具の対象とするよう求めます。意思伝達装置の入力スイッチ設定支援制度を創設し、専門機器が支援できる体制を整備します。

テレビの解説放送や手話・文字放送を拡充します。

文化・スポーツ・レクリエーションに誰もが親しめるよう、施設整備や環境づくりをすすめます

荒川自然公園が都市公園に位置づけ…何が変わる？

6月会議に、荒川自然公園を都市公園として位置づけるため、「荒川区区立公園条例」に荒川自然公園を加える改正が出され成立の運びとなっています（これまでの荒川自然公園条例を廃止）。こうすることで何が変わるのでしょうか。どうも都市公園になるとトイレ改修、遊具の改修にかかる費用を国や東京都が出すことになるということです。これまでも自然公園のトイレは老朽化して「きたない」の苦情が寄せられて区も順次改修工事をおこなっています。だったらもっと早く都市公園にしてあげれば良かったと思うのですが。どうも下水処理場の上に蓋をして作った公園を都市公園にすることに東京都が難色を示していたということです。しかし遅れて蓋をつくった他の公園は先に認めています。いずれにしてもこれを機にトイレ・遊具も含めて改善してほしいものです。

荒川自然公園案内図



左図の白が改修済み、白は今後改修予定のトイレ

今週のデータ 米軍への「思いやり予算」… 思いやるの相手が違うのでは？

駐留する米兵一人当たり、削減など、思いやっしてほしいのは国民の暮らしてほしい。各国がどれくらいお金をを出しているのか比較した図です。日本の場合、思いやり予算で大盤振る舞いし、何と一人1000万円以上を支出。米兵家族の豪華な住宅から娯楽施設まで至れり尽くせりの状態です。他国との比較になりません。その一方で、国民には財政が大変と脅して、150億円の生活保護削減や社会保障自然増1293万円(10万6000円)

